

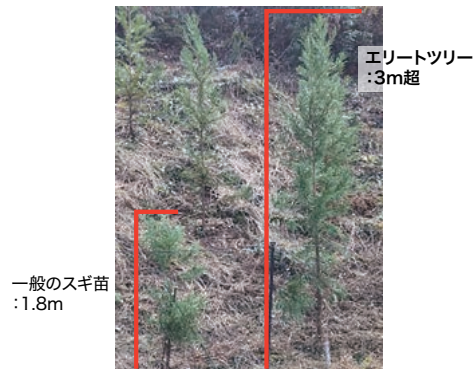
7 省力・低コスト造林の推進

成果指標⑦ 44% → 85%

※目標値の算出の考え方

前計画期間(令和元年～令和5年)の実績を基に令和10年の目標値を設定している。

造林の省力化や低コスト化の取組を進めることにより、主伐後の再造林が円滑に行われるようにするため、人工造林面積のうち、伐採から植栽までの一貫作業の導入、コンテナ苗や成長に優れた苗木の植栽、低密度植栽等に取り組んだ造林面積の割合を増加させます。



成果目標 4 山村地域の活力創造への寄与

8 森林資源を活用した地域づくりの推進

成果指標⑧ 47 都道府県

※目標値の算出の考え方

全国で森林資源を積極的な活用を促す観点から、47都道府県を目標としている。

森林資源を活かした地域づくりを推進する観点から、47都道府県におけるの保続を確保しつつ、森林資源を積極的に利用します。

事業量について

全国森林計画を基に推計した本計画期間中の実施量は以下とおり設定しています。

事業内容	事業量
山地災害危険地区等における治山対策の実施	約3万4千箇所
津波等に対する防災機能の発揮のために保全が必要な海岸防災林等の復旧・整備	約100km
択伐等による育成複層林への誘導	約9.3万ha
間伐や人工造林の実施	約253万ha
路網整備	約7.0万km

